

# 令和8年度 学校「学ぶ力」育成プログラム

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

学校番号：27014

「学ぶ力」	
実態	課題
<p><b>成果</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇「自分にはよいところがある」割合が、他の項目と比べて高い。(共通指標)</li> <li>◇「人の役に立つ人間になりたいと思う」割合が、項目の中で高い。(共通指標)</li> <li>◇「先生方は、自分が安心して学習に取り組むことができるよう、支援をしてくれる」割合が、項目の中で高い。(共通指標)</li> </ul>	<p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇「自分の意見を進んで発言しようとしている」割合が他の項目と比べて低い。(共通指標)</li> <li>◇「自分で計画を立てて勉強している」割合が他の項目と比べて低い。(共通指標)</li> <li>◇算数「数と計算」の正答率が低い。(NRT学力検査)</li> <li>◇家庭学習習慣の定着など、基礎基本を定着させる取組が必要。</li> </ul>
<p><b>「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の感度〉の現状と課題</b></p> <p>◇札幌市共通指標「自分が必要とされていると感じる」割合が他の項目と比べて低く、「自分にはよいところがある」割合との差が大きい。家庭学習習慣の定着など、基礎基本を定着させる取組と合わせて、教師の即時的評価だけでなく、子ども同士の相互評価等により、「できた」と個人が実感できるような取組を大切にしていきたい。</p>	
<p><b>「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力</b></p> <p style="text-align: center;"><b>主体的に考え、共に学ぶ子どもの育成</b></p>	
<p><b>課題探究的な学習の推進</b> に向けて</p> <p>◇研究副主題「どの子ども学ぶ喜びを感じる授業づくり」の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どの子ども取り組みたくなる「ゴールの設定」 子ども一人一人が見通しや安心感をもって学びを進めていくことができる授業を構築する。</li> <li>・子どもの実態に合った教師の関わり 子どもがゴールへ到達するために、全体への関わり、個別の関わりを工夫する。(板書や提示資料、活動内容の多様性、個に応じた声掛け、ペアやグループの活用など)</li> </ul>	<p><b>自治的な活動の充実</b> に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇よりよい学級にするための学級活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学級の様々な課題を議題にした学級会の実施</li> <li>・計画と報告を発表する係での振り返りの実施(前後期)</li> </ul> </li> </ul>
<p><b>「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICTの活用について</b></p> <p>◇自分たちの生活を振り返る場の設定 ・学級での振り返り 毎月や学期ごとの場の設定 ・全校共通の google フォームで実施・共有</p>	

<本プログラムの実行に向けて>

